

第36回 通常総会資料

平成24年6月12日(火)

東京都墨田区錦糸1-2-2

東武ホテル レパント東京

TEL 03-5611-5511(代表)

全日本プラスチックリサイクル工業会

東京都墨田区東駒形 2-18-12

TEL 03-3625-5651

総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事
 - 1) 第1号議案 平成23年度事業報告及び決算関係書類承認の件
(監査報告)
 - 2) 第2号議案 平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件
 - 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件
6. 議長挨拶降壇
7. 万歳三唱
8. 閉会のことば

懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. 中 〆

第1号議案

平成23年度 事業報告書

自 平成23年5月1日

至 平成24年4月30日

概況

平成24年5月作成

昨年度は東日本大震災による甚大な被害、加えて被災した福島原子力発電所から膨大な量の放射能汚染により1年を経過しても復興の道筋さえも未だ定かになっていません。一方、国際経済においてはギリシャに端を発した財政危機によるユーロ安で国際的金融不安が増大し、国際安定通貨としての円が買われ、10月28日には遂に戦後最高値の1ドル75円79銭まで上昇しました。輸出産業はもはや国内生産では国際競争に生き残ることができず家電をはじめとして大幅な赤字決算、または会社の破綻等の危機に瀕しています。日本経済は一転してマイナスに落ち込み今年度中に回復できるかどうか分かりません。

このような経済環境下で会社を運営されている会員の皆様方におかれましては、多大なるご苦労と、変革のご努力をされていることと思います。

当工業会も昨年度は経済産業省主体で進められてきたカーボンフットプリント(CFP)試行事業に基づいて、再生ポリエチレン、再生ポリプロピレンの温室効果ガス(GHG)を算出し、CFP原単位として登録されました。再生原料での登録は業界では初めてです。大震災と放射能不安により原発が一基も稼働していない異常事態の中、温室効果ガス(CO2等)の削減意識は後退していますが、いずれは産業界において重要な課題として再び脚光を浴びるのは疑いのないことです。

会員の皆様におかれましては業界が縮小する中、厳しい経営を余儀なくされると思いますが情報を密にし、一致団結し次の地代を迎えられるよう祈念いたします。

2. 会員の移動

会員	区分	23年4月	24年4月	増減	摘要
	関東プラスチックリサイクル協同組合	52	51	-1	
	日本合成樹脂有効利用組合	5	5	0	
	東日本プラスチック再生協同組合	25	26	+1	
	愛知県プラスチックリサイクル協同組合	36	34	-2	
	北陸合成樹脂商工会	5	5	0	
	京滋プラスチックリサイクル工業会	13	12	-1	
	関西プラスチックリサイクル商工会	14	15	+1	
	九州プラスチックリサイクル工業会	6	6	0	
	個人会員	6	4	-2	
	合計	162	158	-4	

3. 会議開催状況

(1) 総会

- イ. 開催日時 平成23年6月14日(火)
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 42名 (本人出席29名 (委任状13名)) / 総数48名

ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成22年度事業報告及び決算を承認したあと、平成23年度事業計画及び予算案を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法を決定、その後役員改選を行い全議案を審議終了した。

(2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成23年6月14日(火)
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 21名 (本人出席21名) + 事務局1名

ニ. 協議事項

1. 通常総第35回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成22年度決算報告、平成23年度予算案の審議について
3. 市況分析
4. その他

(3) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成24年3月7日(水)
- ロ. 開催場所 東武ホテル レバント東京
- ハ. 出席者数 20名 + 事務局1名

ニ. 協議事項

1. 通常総第36回会及び懇親パーティーの役割分担について
2. 平成23年度決算報告、平成24年度予算案の審議について
* 賦課金の値上げについて
3. 事業計画について
 - 1) PCR申請のその後
 - 2) エコキャップ活動について
4. 電力供給について
5. 市況分析、その他

平成23年度 収支報告(予算・実績対比)

自 平成23年5月 1日

至 平成24年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要			
賦課金	810,000	810,000	0	関東 52	260,000	日本有 5	25,000
参加費収入	90,000	35,000	-55,000	東日本 25	125,000	愛知 36	180,000
				九州 6	30,000	北陸 5	25,000
受取利息	1,000	231	-769	関西 14	70,000	京滋 13	65,000
その他収入	0	0				個人 6	30,000
前年度繰越金	1,399,790	1,399,790	0			計 162	810,000
合 計	2,300,790	2,245,021	-55,769				

支出の部

科 目	予 算	実 績	増 減	摘 要	
教育情報費	150,000	0	-150,000	予 業界懇談会費用(講演・講師御礼等)	実 無し
調査研究費	100,000	0	-100,000	予 調査費	実 無し
会議費	900,000	711,622	-188,378	予 第34回通常総会費 常任理事会費用	実 第35回通常総会費 常任理事会費用 他
福利厚生費	30,000	0	-30,000	予 慶弔費	実 無し
通信費	30,000	0	-30,000	予 郵便料	実 無し
広告宣伝費	200,000	177,542	-22,458	予 ホームページ管理料、業界紙広告料	実 ホームページ保守料120960、サーバーレンタル料56582
事務用消耗品費	10,000	0	-10,000	予 事務用品代	実 無し
支払手数料	2,000	2,625	625	予 振込手数料 等	実 振込手数料 等
旅費交通費	100,000	0	-100,000	予 交通費	実 無し
雑費	100,000	31,500	-68,500	予 その他諸経費	実 プラスチック処理促進協会事務所移転祝い生花代
翌年度繰越金	678,790	1,321,732	642,942	普通預金 ¥1,295,652 現金 ¥26,080	
合 計	2,300,790	2,245,021	-55,769	ホームページ保守料今回から消費税付加 サーバーレンタル期間2011年5月10日～2013年5月9日	

会計監査報告書

平成 23 年度決算について厳正に監査した結果、別紙収支報告の
通り間違いない事を報告いたします。

平成 24 年 6 月 12 日

全日本プラスチックリサイクル工業会

監事 藤井 達雄

監事 二井 真



自 平成24年5月 1日

至 平成25年4月30日

1. 基本方針

昨年度は経済産業省が提唱するカーボンフットプリント(CFP)試用事業に当工業会の主要生産樹脂であるPE、PP、PSをプロダクトカテゴリールール(PCR)に登録すべく活動してまいりました。成果と致しまして再生樹脂では業界初となるPE、PPの共通原単位が認定されました。

また社会貢献活動と当工業会のPR活動の一環としてエコキャップ活動推進のサポートを行い、リサイクル・リユース・リダクション(3R)の側面から社会、地球環境の維持にきわめて有効性の高い活動を行ってまいりました。

本年度は認定されたPE、PPの共通原単位をどのようにPRして、業界の認知度を上げ、会員の皆様の成果向上に結びつけられるよう活動を行う予定です。

2. 事業計画

(1)組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

(2)広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

(3)教育情報・調査研究活動

①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題(特に環境・リサイクル関連)について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

③関係団体等開催の講習会への参加

(4)関係官庁・団体との連絡

経済産業省化学課

日本プラスチック工業連盟

(社)プラスチック処理促進協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検閲検疫総局

平成24年度 収支予算 (案)

自 平成24年5月 1日

至 平成25年4月30日

全日本プラスチックリサイクル工業会

収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	摘 要			
賦課金	1,106,000	関東 51	357,000	日本有 5	35,000
参加費収入	90,000	東日本 26	182,000	愛知 34	238,000
		九州 6	42,000	北陸 5	35,000
		関西 15	105,000	京滋 12	84,000
受取利息	1,000			個人 4	28,000
その他収入	0			計 158	1,106,000
前年度繰越金	1,321,732				
合 計	2,518,732	* 今期から賦課金改定 @5000→@7000/社			

支出の部

科 目	金 額	摘 要
教育情報費	150,000	業界懇談会費用 (講演・講師お礼等)
調査研究費	100,000	調査費
会議費	900,000	第36回通常総会会費・常任理事会
福利厚生費	30,000	慶弔費
通信費	30,000	郵便料
広告宣伝費	500,000	業界紙広告料・ホームページ管理料・政策研究会活動費
事務用消耗品費	10,000	事務用品代
支払手数料	2,000	振込手数料 等
旅費交通費	100,000	交通費
雑費	100,000	その他諸経費
翌年度繰越金	596,732	
合 計	2,518,732	

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
 - ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。
- ※会費 金7,000円/一社 ※時期—総会后3ヶ月以内
※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

※ リサイクル推進協議会の表彰について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

年度	グループ	各ブロック名(会員数…多少増減はあります)
H20年度	A	関東プラスチック(51社)
H21年度	B	東日本プラスチック(26社). 日本有効(5社)
H22年度	C	愛知県プラスチック(34社)
H23年度	D	北陸合成(5社). 九州プラスチック(6社). 個人会員(4社)
H24年度	E	関西プラスチック(15社). 京滋プラスチック(12社)

計158社

グループの動き(A→B→C→D→E)

平成24年度は、関西・京滋ブロックより選出となり次の方を推薦し、了承をいただいた。

エンプラ株式会社 代表取締役 田中将平氏
TEL 0774-44-0749 FAX 0774-44-0840